

第 15 章 工事しゅん功 目次

第 15 章 工事しゅん功	2
15 - 1 工事書類の簡素化について	2
15 - 2 再生紙の使用等について	2
15 - 3 工事しゅん功図	2
15 - 4 しゅん功原図の記載方法	3

第 15 章 工事しゅん功

15 - 1 工事書類の簡素化について

工事書類の簡素化は、下記 URL に掲載している「札幌市 工事書類簡素化要領」による。なお、当該要領の対象工事は、札幌市発注の設計金額が250万円を超える土木工事とする。

https://www.city.sapporo.jp/zaisei/kojikansa/kantoku/kantoku_kensa.html

1 下水道管きょ工事では、「工事書類簡素化一覧表」のうち、「(別表1-2) 監督員が準備する書類 (2/2) 品質管理 材料品質管理」に記載している書類のほか、「下水道用資機材使用届」を作成すること。なお、書類の種別および確認方法は下表を参照すること。

2 下水道管きょ工事では、「工事書類簡素化一覧表」のうち、「(別表1-2) 監督員が準備する書類 (2/2) その他」に記載している書類のほか、「21 土砂搬入搬出連絡票」を必要に応じて作成すること。なお、書類の種別および確認方法は下表を参照すること。

(別表 1-2) 監督員が準備する書類 (2/2) (監督員に提出済みの資料)

分類	書 類 (電子データ◎、縦■、選択△) 書類の種別は①監督員提出時 書類の種別は②検査時(監督員が作成)	作成書類の確認方法			備 考	該 当 根 拠
		①	②	検査時 確認書類		
品質管理	① 材料品質管理 海外建設資材品質審査証明書 指定材料品質証明・試験結果 下水道用資器材使用届	△	■	○	○	※ 海外の JIS マーク表示認証工場以外で生産された建設資材を使用する場合に当該証明書、あるいは日本国内の公的機関で実施した試験結果資料を提出する。 ※ 設計図書において試験を行うこととしている工事材料の試験結果、見本又は品質を証明する資料を事前に提出することと指定された工事材料(JIS マーク表示品を除く)。 下水道管きょ工事仕様書3-2-1 土木工事共通仕様書1-2-2-1 土木工事共通仕様書1-3-6-2/アスファルト舗装の材料
その他	② 土砂搬入搬出連絡票	△	-			

15 - 2 再生紙の使用等について

受注者は、紙の使用量の削減、工事竣工書類の再資源化、保管スペースの縮小等に配慮し、各種提出書類には再生紙を使用し、両面印刷を行なって作成するよう努力すること。

なお、デジタルカメラに関する規定等は、第 16 章 5 項の写真管理基準に記載されていますので活用してください。

15 - 3 工事しゅん功図

工事しゅん功図とは、下記のことをいう。

1 出来高図

出来高(しゅん功値)を図面に朱書きで追記したもの。

2 しゅん功原図

出来高(しゅん功値)等を記入した図面(15-3 参照)

3 しゅん功原図のマイクロフィルム(別紙仕様書)

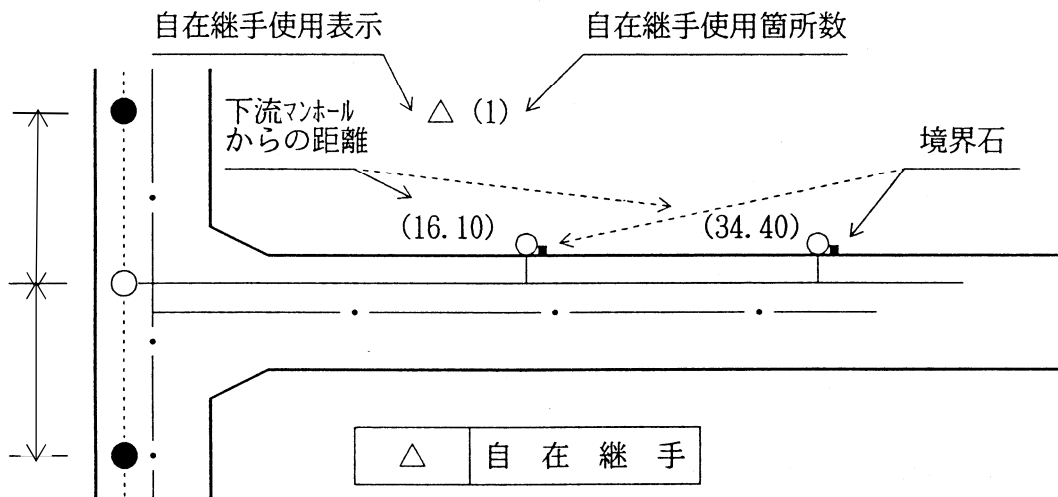
画面サイズは、原則として 31.5 mm × 45.0 mm とする。

その他これによりがたい場合は、工事監督員と別途協議のこと。なお、フィルム成果品の提出については、保管書にかえることができる。(マイクロフィルム化を行う際には、必ず原図を作成会社に持参すること。)

4 ダクティル鑄鉄管布設の場合は、配管日報裏面の「管布設工事実施略図」をマイクロフィルム化すること。(「管布設工事実施略図」の記入方法は、札幌市水道局「管工事仕様書」に準ずる。)

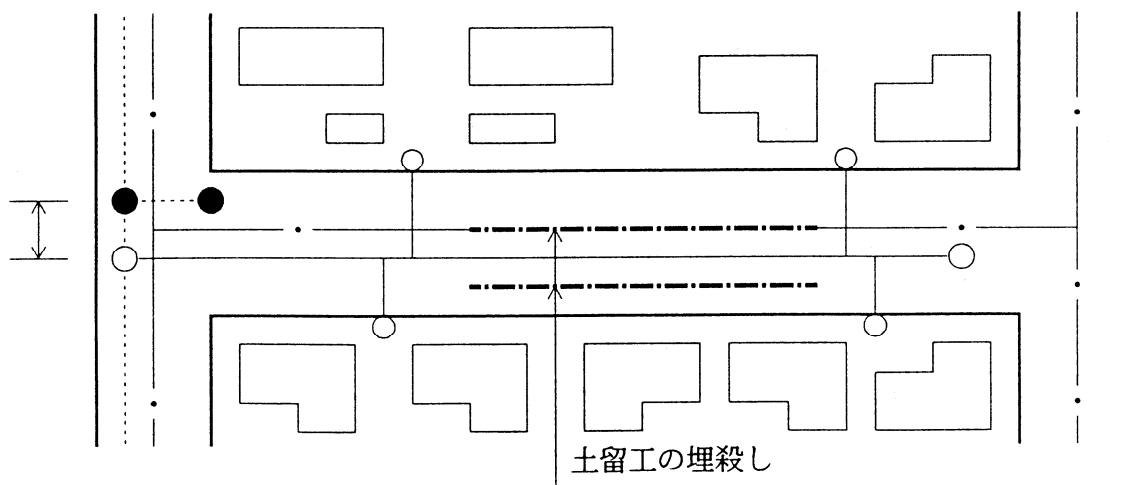
15 - 4 しゅん功原図の記載方法

- 1 延長、管底高、地盤高、土被り等を正確に記載すること。
- 2 汚水柵、宅地雨水柵の設置位置及び距離は正確に記入すること。
- 3 取付管に自在継手を使用の場合は、3mm三角()で表示すること。また凡例も追加すること。
- 4 現地で確認した土地境界石は、1mm角()で表示すること。
- 5 既設管渠に人孔を設置した場合には、上流及び下流の各既設人孔からの距離を記入すること。



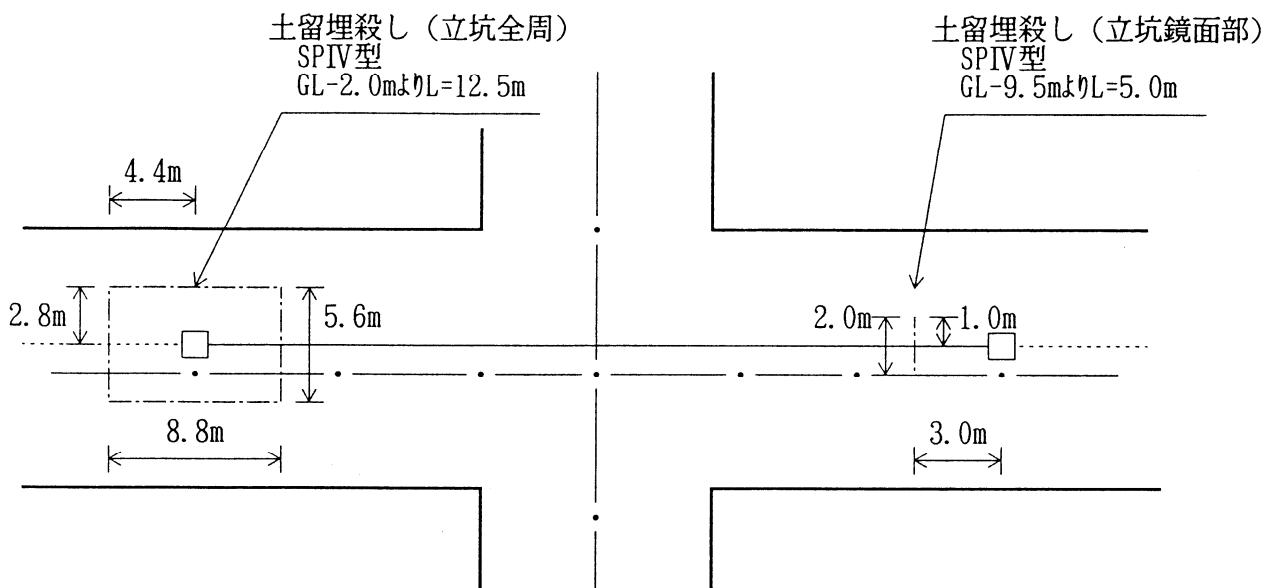
6 埋殺しとした土留工（矢板・支保工）、セメント系の地盤改良杭及び地下連続壁（SMW含）等を記載すること。

< 開削の例 >



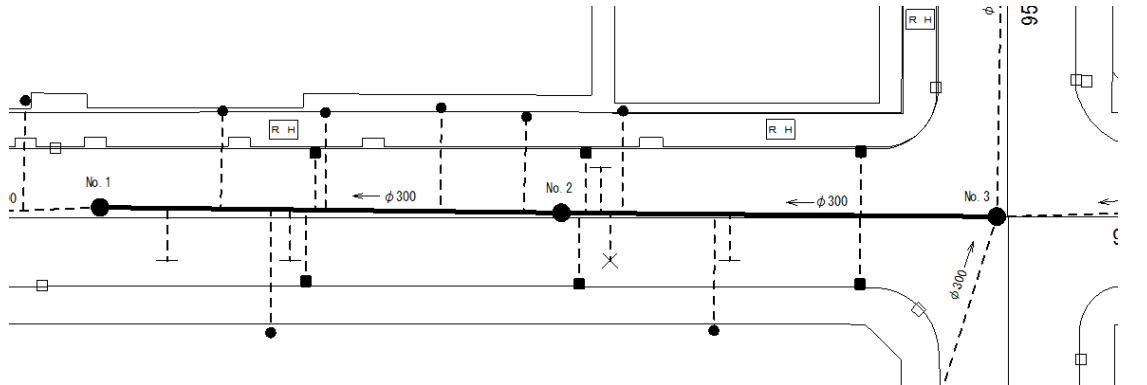
土留の種類	木矢板
埋殺し矢板の長さ	3.00m (GL-1.5mより)
埋殺し矢板の延長(測点)	35m (測点 30~65)
矢板の遣い分け	2 / 3
片側か両側か	両側共

< 推進の例 >



支保工も埋殺しの場合は、原図の余白に部材を明示した立坑断面図を記入すること。

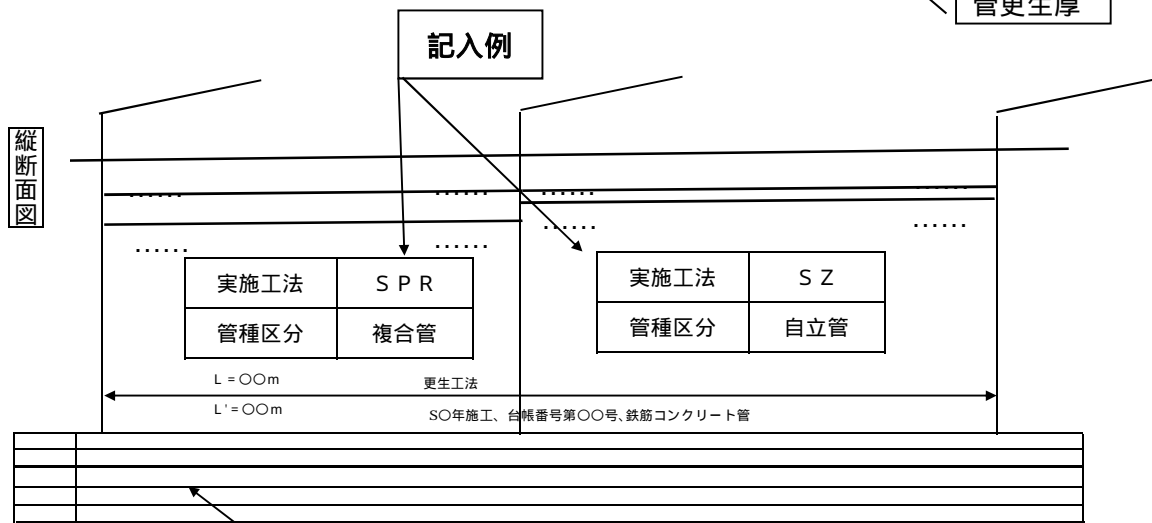
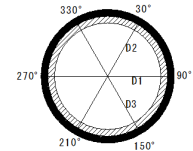
7 管更生工法で施工した場合は、実施工法、管種区分(自立管、二層構造管、複合管)、更生管厚(製管工法の場合は仕上り内径)を縦断面図に記入すること。(管底高、土被り等の表示は更生後の値を記入)



取付管数量	凡例	箇所
汚水樹	-----●	8
雨水樹	-----■	6
不明	-----	4
閉塞(未せん孔)	-----×	1

実測値【mm】			
		施工前	施工後 平均厚
No. 1	下流	D1 303	281
		D2 302	281
	上流	D3 305	282
No. 2	下流	D1 303	282
		D2 301	280
	上流	D3 301	279
No. 3	下流	D1 304	282
		D2 308	285
	上流	D3 306	284

他に凡例が必要な場合は追加して下さい



各スパンの両端における数値を記入(土被り、管底高、地盤高)
 土被り = 既設管土被り + 既設管厚
 管底高 = 既設管底高 + 更生管厚

札幌市長

様

受注者名
現場代理人名

工事工程月報 (月分)

このことについて、下記のとおり報告いたします

工事名		監督員氏名			工事主任 技術職員	
工種名又は細目	工事出来高			構成比率	工出来事高	備考
	前月末累計	当月出来高	当月末累計			
	%	%	%	%	%	
合計				100%	%	実際の進捗率
工事工程表の進捗率	%	翌月分の進捗率見込		%		
特記事項	-----					

日	曜日	天候	主な作業内容		就業人数				
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
計									
累計									

打合せ事項及び指示事項
